

小中学校ロードレース大会

晴天の下、新記録に挑戦

マラソン日和の晴天となった12月5日、中台運動公園を会場に、小中学校ロードレース大会が行われました。各校を代表して出場したのは、市内の小5年生と中学2年生の男女546人。緊張した面持ちでスタートを切り、ゴール近くでは苦しい表情ながらも懸命にラストスパートをかける選手たちに、級友や保護者たちから暖かい声援が送られていました。

- 各部門の優勝者は次のとおりです。(敬称略)
- 小学校5年男子 郡司真里(加良部小)
- 小学校5年女子 日高虹歩(成田高校付属小)
- 小学校6年男子 林田憲俊(公津の杜小)
- 小学校6年女子 工藤美樹(平成小)
- 中学校男子 萩原聡(西中)
- 中学校女子 工藤花純(西中(新記録))



合図の音で一斉にスタート



場外から声援を送る生徒や保護者



ゴールを目指して懸命のスパート

合併記念事業

歩け歩け大会
下総地区の魅力を再発見

下総地区を歩いて巡る「歩け歩け大会」が、ことしは合併記念事業として11月23日に行われました。参加した約120人は、紅葉が色付き始めた楽満寺や龍正院などの境内の景観を楽しみながら、およそ19kmの行程を踏破。ゴール地点となった下総支所で、大栄地区の特産品として知られるサツマイモを振舞われた参加者たちは、道中のエピソードなどを語り合いながら地元の味を楽しんでいました。



友達との会話も弾む道中



子牛の育成舎の見学も

美味しいフォーラム・いんばの畜産

印旛郡内の消費者が畜産農家を探検

畜産農家などの現場を見学することにより、食肉や牛乳がどのように生産されているか理解を深めてもらおうと、「美味しいフォーラム・いんばの畜産」が11月28日に開催されました。3回目となることしは、成田市内の酪農家・養豚農家などを訪問。印旛郡内から参加した40人の消費者は、牛舎にずらっと並んだ乳牛の大きさに驚いたり、養豚農家から提供された豚肉を試食したりしながら、普段見ることができない生産現場に興味深そうに見学していました。

合併記念事業

「日本一のいも掘り広場」「大栄ふるさとふれあいまつり」

大勢の家族連れで にぎわう

大栄特産のサツマイモや新鮮野菜を収穫できる「日本一のいも掘り広場」が11月23日、B&G海洋センター隣の畑で開催されました。早朝から家族連れの長い行列ができ、開始時間を早めるほどの大人気で、参加者は収穫の秋を堪能していました。また同日、日本自動車大学校グラウンドでは「大栄ふるさとふれあいまつり」が開催。キャラクタースhower・サークル発表などのステージイベントや各種模擬店が楽しめることあって、終日来場者でにぎわっていました。



1箱5kg入るダンボール箱に次々とサツマイモが



大きな大根を手にして笑顔がこぼれる



優雅な踊りにうっとり

坂田ケ池で外来魚一掃作戦

ブルーギルなどを 大量に捕獲

排水施設改修工事に伴い水位が下がった坂田ケ池で、11月27日・29日、12月1日の3日間にわたり、ブルーギルやブラックバスなど外来魚の捕獲が行われました。坂田ケ池総合公園入り口の駐車場脇と、「溪流の径」側の公園最奥部の2カ所で実施され、地元管理組合や市職員が網を使い捕獲した外来魚は合計で約1t。同時に網にかかったコイやフナは池に戻されましたが、中には1m近い巨鯉や50cmを超えるヘラブナなども。反面、外来魚以外の稚魚がほとんど見られないことは、外来魚による捕食と思われる、定期的な駆除の必要性も検討されています。



船と岸辺に分かれての捕獲作戦



トラックの荷台からあふれるほどの外来魚が

土・くらし・空港—成田40年の軌跡

資料や貴重な証言でつづる 初の企画展

新空港に三里塚を閣議決定し40年。新しい成田の歴史の幕開けとなった大きな出来事と厳しい空港問題の歩みを6部構成で振り返る初の企画展示(財航空科学振興財団 歴史伝承委員会主催)が、11月25日~12月3日まで、国際文化会館で開催されました。訪れた来館者は、写真パネル・新聞の切り抜き・資料・日誌・記録映画の上映など、当時の生々しい状況と歴史の重みが伝わる展示に熱心に見入っていました。



反対闘争で住民が緊急時にたたいたドラム缶も再現